

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立長居小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立長居小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和 7 年度の児童数は 725 人、学級数は 36 (通常学級 23、特別支援学級 11、他校通級 2) であり、12 月に創立 130 周年を迎える。令和 9 年の冬から西校舎の改築工事が検討されており、2 年半にわたって運動場が非常に狭くなる見込みである。

**【安心・安全な教育の推進について】**

- ・令和 6 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した児童の割合は 82.0% で 0.5 ポイント上回った。令和 6 年度に認知した案件は、すべて解消できている。
- ・不登校児童の割合は、年々増加傾向にある。不登校等について、SC、SSW、区役所子育て相談室、こども相談センターと密に連携し、組織的な対応を継続する。
- ・令和 6 年度小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と回答した児童の割合は 93.0% で、市平均を 2.3 ポイント上回った。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上について】**

- ・令和 6 年度全国学力・学習状況調査において、国語、算数とも全国平均を上回った。
- ・令和 6 年度小学校学力経年調査において、次の学年、教科で市平均を上回った。  
(6 年全教科、5 年社会、英語、4 年理科)
- ・令和 6 年度全国体力・運動能力調査において、男子 1 種目(握力)、女子 3 種目(握力、反復横とび、50m 走)で市・全国平均を上回った。体力合計点については、男子は市・全国平均を下回ったが、女子は市平均を上回った。
- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答した児童の割合は男子が市・全国平均を上回り、女子は市平均を上回った。しかし、「1 週間の総運動時間が 60 分未満の児童生徒の割合」は男子が 15.0%、女子が 24.1% であり、市・全国平均よりも高かった。

**【学びを支える教育環境の充実について】**

- ・学習者用端末の家庭への持ち帰りが定着した。学習場面における機器の活用や教職員の業務の効率化を進める必要がある。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 は、時間外勤務の上限を「月 45 時間」「年間 360 時間」としている。長時間の時間外勤務が常態化しているため、ゆとりの日を継続して設定し、時間を意識できる取り組みを継続していく。

#### 中期目標

##### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（令和6年度 83.3%）
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を97%以上にする。（令和6年度 96.3%）

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を39%以上にする。（令和6年度 38.0%）
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を68%以上にする。（令和6年度 66.5%）

##### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える3年生以上の児童の割合を、85%以上にする。（令和6年度 84.8%）
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を、令和7年度末に50%以上にする。（令和6年度 37.0%）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

##### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。（令和6年度 93.0%）
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。（令和6年度 95.8%）

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。（令和6年度 39.8%）
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68%以上にする。（令和6年度 67.1%）

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にする。（令和６年度 ９.５％）
- 第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準１を満たす教職員の割合を５０％以上にする。（令和６年度 ３７.０％）

**３ 本年度の自己評価結果の総括**

(様式2)

## 大阪市立長居小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。(令和6年度 93.0%) ○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。(令和6年度 95.8%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b> ・児童の社会性の向上をねらい、廊下・階段の安全な歩行ができるよう、環境整備や各種委員会との連携を図りながら、全職員で日常的に指導する。	
<b>指標</b> ・安全歩行週間を学期に1回実施し、安全な歩行について啓発を図る。 ・学校評価児童アンケートにおける「ろうか・階段を安全に歩いている」に対して、「そう思う」と回答する児童の割合を昨年度より向上させる。(令和6年度 48%)	
<b>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> ・持ち物への記名を徹底させ、落とし物について児童や家庭へ啓発することで、身のまわりの物を大切にしようとする意識を高める。	
<b>指標</b> ・学校評価児童アンケートにおける「自分の持ち物に名前を書いて、ものを大事に持っている」に対して、「そう思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。 ・学期に1回以上、Teams朝会で落とし物について学級で考える時間を設ける。 ・委員会活動を通して、落とし物を減らす取り組みを年間通して行う。	
<b>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b> ・縦割り活動や児童会行事を通して異学年間の交流を深め、互いを思いやり、助け合い支え合っていこうとする気持ちを育む。	
<b>指標</b> ・学校評価児童アンケートにおける「縦割り活動で協力して活動できていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・縦割り活動を通して他学年と交流する機会を学期に1回以上設ける。	

<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して人権課題に対する正しい知識と認識を深める授業実践により、児童の人権尊重に関わる道徳心を高める。</li> <li>・係活動や委員会活動、当番活動を通して学年に応じた自己肯定感・自己有用感を高めるための取り組みを行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価児童アンケートにおける「係活動や委員会活動、当番活動を通して、人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度にむけての改善点</p>	

## 大阪市立長居小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。(令和6年度 39.8%) ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68%以上にする。(令和6年度 67.1%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・主体的・対話的で深い学びに向かう学習活動を通して、児童が自分の思いを伝える力と聞く力を育てていく。	
指標 ・1日1回以上、授業のなかでペアやグループでの話し合いを設定する。 ・話し合い活動についてのふりかえりを週に1回以上行う。また、道徳科ではふりかえりノートを活用をすすめる。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・話し合い活動に主体的に取り組む、主体性をもって学習をすすめることができる児童を育てていく。	
指標 ・活発な話し合い活動ができるように、1日1回以上、話し合い活動をする前に、自分の考えを整える時間を設ける。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・休み時間の使い方を見直し、様々な遊びに触れられるよう環境を整える。	
指標 ・学校評価児童アンケートにおける「1日1回以上外で遊んでいる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。(令和6年度 59.0%) (令和6年度の割合は令和5年度の67%から著しく減少している)	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・友だちと一緒に体を動かす楽しさを味わう機会を増やす。	

指標 ・各学級で月 2 回以上、運動場でのみんな遊びを設定する。	
取組内容⑤【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 ・運動に親しむ活動の内容や場作りを工夫し、自ら体力づくりに取り組む児童を育てる。	
指標 ・高学年児童と協働して、体を動かす取り組みを年 3 回設定し、実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度にむけての改善点	



(様式 2)

## 大阪市立長居小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> ○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(令和 6 年度 9.5%) ○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 50%以上にする。(令和 6 年度 37.0%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・児童が学習者用端末の操作に慣れ、日常的に I C T 機器の活用を進められるようにする。	
指標 ・スクールライフノートの活用を進め、全学年で「こころの天気」の入力を毎日行う。	
取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・学習者用端末の活用を推進し、効果的に I C T 機器を活用していくことができるようにする。	
指標 ・家庭学習や連絡帳などで、毎日学習者用端末を活用するようにし、全学年の児童が、学習者用端末の持参・持ち帰りを行うようにする。	
取組内容③【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・学習者用端末のより効果的な活用をすすめるために、教職員の指導技術向上をはかる。	
指標 ・学習者用端末の活用を扱った研修会を年間 3 回以上行う。	
取組内容④【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・職員会議、部会、打ち合わせ会等の効率化を進め、事務連絡・集計作業に係る時間を削減する。	
指標 ・Teams や Forms など連絡・調査・アンケートの運用を効率化する。 (研究討議会、児童・保護者アンケート、校務分掌部会開催計画で実施)	

<p>取組内容⑤【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりの日を設定し、勤務時間の適正化を図る。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の行事予定でゆとりの日を設定し、教職員の 18 時退勤をすすめる。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	